

「共通実践」が学力向上の要

～佐賀県学習状況調査及び全国学力・学習状況調査から～

佐賀県学習状況調査及び全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。各学校においては結果を分析し、改善に向けた授業実践が行われていると思います。

今年度の中学校国語の調査結果から、《表現の仕方について捉え、自分の考えをまとめる力》に課題があることが分かりました。問題から読み取れる改善のポイントについて一緒に考えてみましょう。

【平成29年度 全国学力・学習状況調査

中学校国語 主として「活用」に関する問題 1三】

問題内容：

比喩を用いた表現が含まれる一文を〈心に残った一文〉として抜き出して書き、取り挙げた表現の仕方について自分の考えを具体的に書くという問題。

県正答率	おおむね達成	十分達成
29.7%	40%	60%

★おおむね達成(40)に対して、正答率が低い。

【読書の記録】

書名 スコレーN o.4
著者名 宮下あ都

〈心に残った一文〉

〈感想〉

三 青山さんは、「本の紹介カード」にある「比喩を用いた表現」に着目して「本の一部」を読み、感じたことや考えたことなどをあとの「読書の記録」に書いています。あなたなら「読書の記録」の〈心に残った一文〉と〈感想〉にどのようなことを書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 〈心に残った一文〉は、「本の一部」から、**比喩を用いた表現が含まれる一文を抜き出して書くこと。**

条件2 〈感想〉は、条件1で取り挙げた表現について、「誰(何)の」、「どのような」様子なのかを明確にした上で、あなたが**感じたことや考えたことを具体的に書くこと。**

授業改善のポイント1

表現の技法のような基本的な知識については、折に触れて確認させるようにする。

授業改善のポイント2

読み取ったことを条件に応じて書く活動を設定し、継続して指導する。
ここでは「『誰の(何)』の」、「『どのような』様子」という言葉にあたる表現を押さえながら書く。

授業改善のポイント3

日頃から自分の考えを持ち、書いたり話したりして自分の言葉で表現する場面を多く設定するとともに、授業や日常生活の中で豊かな語彙力を育成するための機会を持たせる。

全教科での共通実践ポイント

- 1 学習用語の定着のために、継続的に確認する場を設ける。
- 2 キーワードを使ったり、条件に応じて書いたりする活動を数多く授業に取り入れる。
- 3 日頃から考え、表現する場面を積極的に取り入れる。



【解答】(例)

〈心に残った一文〉
中から、柳の葉の流れるような文様が息をのむほど美しい五寸皿が出てきた。

〈感想〉
「柳の葉の流れるような文様」の表現は、五寸皿の文様が柔らかな曲線で描かれていることを表している。柳の葉のしなやかさをイメージすることができる。

「『どのような』という比喩」

もう一度見直してみましょう

学習規律 学習環境

夏休みが終わって、学習面や生活面でも実りの時期に入ります。この学習環境や学習規律によって学力の伸びも大きく違ってきます。落ち着いた環境では教師の指示も通りやすく、子供たちも集中して話を聞き、じっくり考え、落ち着いて発言することができます。今の時期、ちょっと立ち止まって、以下の視点でチェックしてみましょう。また、できているところ、できていないところを見直し、指導に生かしましょう。

学習規律

—子供たちの様子をチェックしてみましょう—

〈授業前〉

- 必要な用具を準備していますか。
- 授業までに席に着いていますか。
- 時計を見て行動できていますか。

〈授業中〉

- 授業の始めと終わりはしっかり挨拶をしていますか。
- 背筋を伸ばして座っていますか。
- 私語をしないで聞いていますか。
- 話している人の方を見て、最後まで聞いていますか。
- 相手や場に応じた言葉遣いで話していますか。

〈授業後〉

- 授業で使ったものを決められた場所に片付けていますか。

〈その他〉

- 学校の学習規律を守れていますか。

学習環境

—教室の様子をチェックしてみましょう—

- 机はきれいに並んでいますか。
- 棚の上、ロッカーは整理されていますか。
- 床にごみが落ちていることなく、清潔にしていますか。
- 掲示物は見やすくなっていますか。
- 黒板周りなど不要な掲示物がなく、授業に集中しやすい状態になっていますか。
- 黒板はすっきり整えられていますか。

Check

学習規律

8点以上……素晴らしい！この状態を続けましょう。

5点～7点……子どもたちや先生方と現状と改善方法を確認して、改善しましょう。

学習環境

一つでもできていないところがあれば、すぐ改善できるところから始めましょう。

改善のポイント

3

1 共通理解・共通実践を

子供たちに学習規律を守ることの意義や効果を理解させましょう。また、全職員が同じように指導しましょう。

2 いつでも誰もが分かるように

子供たちが意識できるようにすぐ目につく場所に掲示物で示したり、各種おたよりなどで発信して家庭との連携を図ったりするなど、工夫してみましょう。

3 根気強く、繰り返して

よくできたら褒め、できなかつたら指導することを繰り返して、根気強く取り組みましょう。些細な変化を見逃さず、気づいたらその場で指導しましょう。

現場の声

お待ちしております

「学力向上だより」へのご意見や、日頃の先生方の学力向上へのお考えや気づきなど、SEI-Net の回答機能を使って、事務局までお寄せください。